

令和5年度 梶加内町新型コロナウイルス感染症対応に関連する事業

担当部署	No	区分	対象	事業名	事業の概要	事業期間	進捗状況	成果目標	目標に対する成果	事業の効果	総事業費 (円)
住民課	1	重点交付金	町民	梶加内町物価高騰対策支援事業【低所得者世帯給付金】	生活者への支援。現金30,000円を町民へ配布することで、コロナ禍における原油・物価高騰の影響を受ける生活者を支援を目的とする。 【内容】生活者への支援金交付	R5.10 ~ R5.12	令和5年度に事業完了	現金30,000円を町民169世帯に配布し、原油・物価高騰より影響を受けている非課税世帯を支援する。	現金30,000円を町民169世帯に配布し、原油・物価高騰により影響を受けている非課税世帯を支援した。	コロナ禍における物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援を行い、経済的負担を軽減することが出来た。	5,070,000
住民課	2	重点交付金	町民	梶加内町物価高騰対策支援事業（事務費）	生活者への支援。現金30,000円を町民へ配布することで、コロナ禍における原油・物価高騰の影響を受ける生活者を支援を目的とする。 【内容】生活者への支援金交付事業に係る事務経費	R5.10 ~ R6.3	令和5年度に事業完了	現金30,000円を町民169世帯に配布し、原油・物価高騰より影響を受けている非課税世帯を支援する。	現金30,000円、町民169世帯へ支援支給に際し、円滑な支給事務が図られた。	現金10,000円の支援支給と同時にを行うことで、支給に係る事務経費の負担を軽減することが出来た。	68,210
住民課	3	重点交付金	町民	梶加内町物価高騰対策支援事業	生活者への支援。現金10,000円を町民へ配布することで、コロナ禍における原油・物価高騰の影響を受ける生活者を支援を目的とする。 【内容】生活者への支援金交付	R5.10 ~ R5.12	令和5年度に事業完了	現金10,000円を町民169世帯に配布し、原油・物価高騰より影響を受けている非課税世帯を支援する。	現金10,000円を町民125世帯に配布し、原油・物価高騰により影響を受けている非課税世帯を支援した。	コロナ禍における物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援を行い、経済的負担を軽減することが出来た。	1,251,000
住民課	5	通常交付金	町民	梶加内町物価高騰対策支援事業	生活者への支援。現金10,000円を町民へ配布することで、コロナ禍における原油・物価高騰の影響を受ける生活者を支援を目的とする。 【内容】生活者への支援金交付	R5.10 ~ R5.12	令和5年度に事業完了	現金10,000円を町民169世帯に配布し、原油・物価高騰より影響を受けている非課税世帯を支援する。	現金10,000円を町民44世帯に配布し、原油・物価高騰により影響を受けている非課税世帯を支援した。	コロナ禍における物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援を行い、経済的負担を軽減することが出来た。	439,000
住民課	6	重点交付金	町民	梶加内町物価高騰対策支援事業（事務費）	生活者への支援。現金10,000円を町民へ配布することで、コロナ禍における原油・物価高騰の影響を受ける生活者を支援を目的とする。 【内容】生活者への支援金交付事業に係る事務経費	R5.10 ~ R5.12	令和5年度に事業完了	現金10,000円を町民169世帯に配布し、原油・物価高騰より影響を受けている非課税世帯を支援する。	現金10,000円、町民169世帯へ支援支給に際し、円滑な支給事務が図られた。	現金30,000円の支援支給と同時にを行うことで、支給に係る事務経費の負担を軽減することが出来た。	22,737
産業課	7	重点交付金	町民	梶加内町消費拡大支援事業	事業者への支援。プレミアム付きの地域商品券を販売することにより、町内での消費を喚起し、コロナ禍において原油・物価高騰の影響を受けている生活者の支援と、事業者の支援による地域経済の活性化を目的とする。 【内容】地域商品券の購入、配布	R5.10 ~ R6.3	令和5年度に事業完了	新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響が懸念される中、プレミアム率を20%から30%に引き上げ実施したことにより、落ち込んでいる町内飲食店・商店への消費喚起・拡大が図られ、町内購買力が高まることで町内経済の活性化を図る。	町民による購買力の向上が見られたことによる商店の消費拡大が図られたことによる町内商店の事業継続に貢献した。	新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響が懸念される中、地域商品券事業のプレミアム率を20%から30%に引き上げ実施することで町内経済の活性化に繋げることができた。 販売セット数：2,400セット 販売総額：30,911,000円 発行総額：31,200,000円	2,961,000
産業課	8	重点交付金	地域の事業者	原油価格高騰・物価高騰等緊急対策事業	事業者支援。コロナ禍における原油価格の高騰により、肥料・物業価格、配合飼料価格も高騰しているため影響を受けている農業者を支援する。 【内容】農業者・商工業者への支援	R5.8 ~ R5.10	令和5年度に事業完了	事業者への支援を行うことで、経営継続を断念する事業者をゼロとする。	農業者への支援策として原油価格・物価高騰への対策事業を整備したことにより、経営継続を断念する事業者の発生を防ぐことができた。	農業生産活動に不可欠な生産資材の一つである化学肥料の購入に対して支援金を給付し、農業者への負担軽減を図ることができた。 ケイ酸促進対策：2,359,425円 融雪促進対策：6,650,089円	9,009,514

令和5年度 梶加内町新型コロナウイルス感染症対応に関する事業

担当部署	No	区分	対象	事業名	事業の概要	事業期間	進捗状況	成果目標	目標に対する成果	事業の効果	総事業費 (円)
保健福祉課	9	重点交付金	双葉保育園・テルゲア	電力高騰対策事業	コロナ禍において電力価格高騰の影響を受ける。地域で唯一の保育所、特別養護老人ホームを支援することで、運営を継続できるようにする。 【内容】特別養護老人ホームに対する電気代の補助	R5.9 ~ R6.2	令和5年度に事業完了	事業者への支援を行うことで、経営継続を断念する事業者をゼロとする。	電力価格高騰の影響を受ける保育所及び特別養護老人ホームに支援を行ったことで、経営継続を断念する事業者は発生しなかった。	電力価格高騰の影響を受ける保育所及び特別養護老人ホームに支援をおこなったことにより、コロナ禍における施設運営の負担を軽減することができた。	600,000
建設課	10	重点交付金	町民	水道基本料金軽減対策事業	生活者への支援。水道料金を減免することで、コロナ禍において原油・物価高騰の影響を受ける生活者を支援することを目的とする。 【内容】水道基本料金、メーター料金の減免	R5.9 ~ R6.3	令和5年度に事業完了	663戸への支援を行うことで、原油・物価高騰下でも安心して生活できるようにする。	新型コロナウイルス感染症や原油・物価高騰下の中でも、水道使用者の経済的負担を軽減することができた。	新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響が懸念される中、令和5年9月分から令和6年3月分の7ヶ月分の水道基本料金を免除することにより水道使用者の経済的負担を軽減することが出来た。	6,696,762
建設課	11	重点交付金	町民	水道利用組合補助事業	生活者への支援。町の簡易水道の対象外地区の水道利用組合に補助することで、コロナ禍において原油・物価高騰の影響を受ける生活者を支援することを目的とする。 【内容】水道利用組合への補助	R5.9 ~ R5.11	令和5年度に事業完了	水道利用組合（対象戸数27戸）への支援を行うことで、原油・物価高騰下でも安心して生活できるようにする。	新型コロナウイルス感染症や原油・物価高騰下の中でも、水道使用者の経済的負担を軽減することができた。	新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響が懸念される中、令和5年9月分から令和6年3月分の7ヶ月分の水道基本料金を各水道利用組合に補助することにより、水道使用者の経済的負担を軽減することが出来た。	200,400
教育委員会	12	通常交付金	梶加内小学校 朱鞠内小学校 梶加内中学校	学校保健特別対策事業費補助金事業	感染防止策の徹底。学習に適した温度の環境を作るために、スポットクーラーを整備する。 【内容】スポットクーラー整備	R5.12 ~ R6.1	令和5年度に事業完了	感染防止対策を行うことで、換気対策を講じつつ、併せて、学習環境に適した温度環境をつくる。	感染防止対策を行うことで、梶加内小学校・朱鞠内小学校・梶加内中学校を発生源とする感染者を0人とすることができた。	各小中学校において、感染防止用備品を整備することにより、国が示す「新しい生活様式」等の指針に基づき、感染防止対策を実施して、児童生徒の学びを保障できる環境づくりに寄与する事ができた。	2,226,840
教育委員会	13	通常交付金	梶加内高等学校	学校保健特別対策事業費補助金事業	感染防止策の徹底。寄宿舎に新規で網戸を設置し、新型コロナウイルス感染症対策として各学校に換気機能付きエアコンを整備する。 【内容】換気対策での網戸取付	R5.5 ~ R5.8	令和5年度に事業完了	新規で網戸を設置することにより、換気対策を講じつつ、同時に感染防止対策を行う。	感染防止対策を行うことで、梶加内高等学校寄宿舎を発生源とする感染者を0人とすることができた。	寄宿舎に網戸を整備したことにより、定期的に十分な換気を行うことができるようになり、生徒や教員の感染防止に寄与することができた。	3,740,000
					合 計						32,285,463